

◆ むつ科学技術館だより

むつ科学技術館開館20周年記念イベントをむつ市との共催により、子供からご年配の方まで楽しめるさまざまな催しを開催します。なお、当日は、お隣の海洋研究開発機構も施設公開を合同開催しますので、両方お楽しみいただけます。「ムチュランファミリー」と「まさかり☆Girls5」がみなさまのご来館をお迎えします。

〈いつ〉7月10日(日)

オープニングセレモニー 午前9時10分～

開館 午前9時30分～午後4時(最終入館午後3時30分まで)

〈どこで・どんな〉 ○むつ科学技術館内他 【入館無料】

- ・ふじいあきら氏、庄司タカヒト氏によるマジックショーなど
- ・下北ジオパーク構想パネル展示コーナー
- ・むつ工業高校工業部ロボット部門展示コーナー
- ・リサイクル燃料貯蔵株式会社展示コーナー
- ・科学実験教室
- ・工作たいけんコーナー
- ・おたのしみ縁日コーナー
- ・ストロー飛行機大会
- ・軽食コーナー(有料)

※イベントの詳細及び各イベントの開催時間は、むつ市および当館のホームページ、またはポスターをご覧ください。
※国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター構内に駐車場を準備しています。当日は係員の指示に従って下さい。

※7月9日(土)は準備のため、午後3時30分に閉館します。

＜問い合わせ先＞むつ科学技術館 Tel25-2091 Fax25-2092 《URL》<http://www.jmsfmm.or.jp/msm.htm>

◆ 国立研究開発法人海洋研究開発機構むつ研究所では、次のとおり施設の一般公開を行います

いつ：平成28年7月10日 10:00～16:00 (受付は15:30まで)

どこで：青森県むつ市大字関根690番地 海洋研究開発機構 むつ研究所

- どんな：(1) むつ研究所の研究紹介と楽しい実験教室 (2) トライトン・アルゴフロート実機展示と楽しいゲーム
(3) 水中TVカメラロボットを操縦しよう！ (4) 海洋研究開発機構事業紹介
(5) わくわく！ふしぎな深海クイズ (6) 届けたい！お宝深海映像！
(7) はっけん！みんなが描いた深海の生き物 (8) ハガキにかこう海洋の夢コンテスト入賞作品展示
(9) 海洋研究開発機構グッズ販売

その他：むつ市内から、無料送迎バスを運行します。 ※詳しくは、ホームページをご覧ください。

入場料：無料

＜問い合わせ先＞海洋研究開発機構 むつ研究所 ☎0175-25-3811
ホームページ <http://www.jamstec.go.jp/mutsu/j/>

機構集積協力金

国の制度の見直しに伴い、農地中間管理機構を通じて農地の集積・集約化等を行い要件を満たした場合に農地の「出し手」や「地域」に対して交付される「機構集積協力金」の単価が変わります。

下表の単価は目安額であり、最終的な平成28年度の単価は、平成29年1月頃に決定する予定です。

機構集積協力金

地域集積協力金	貸付割合	平成28年度単価の目安額(円/10a)
地域内の農地の一定割合以上を機構に貸し付けた「地域」に対し、協力金が交付されます。	2割超5割以下	9,000
	5割超8割以下	12,000
	8割超	15,000
経営転換協力金	貸付面積	平成28年度単価の目安額(円/㎡)
機構に農地を貸し付けてリタイアまたは経営転換した「農業者」に対し、協力金が交付されます。	0.5ha以下	180,000
	0.5ha超2.0ha以下	300,000
	2.0ha超	420,000
耕作集積協力金		平成28年度単価の目安額(円/10a)
機構に2筆以上のまとまった農地や機構の借受農地等に隣接する農地を貸し付けた「農業者」に対し、協力金が交付されます。		6,000

問合せ先 青森県構造政策課 017-722-1111(内線5055)
つくり育てる農林水産課0175-27-2111(内線132)

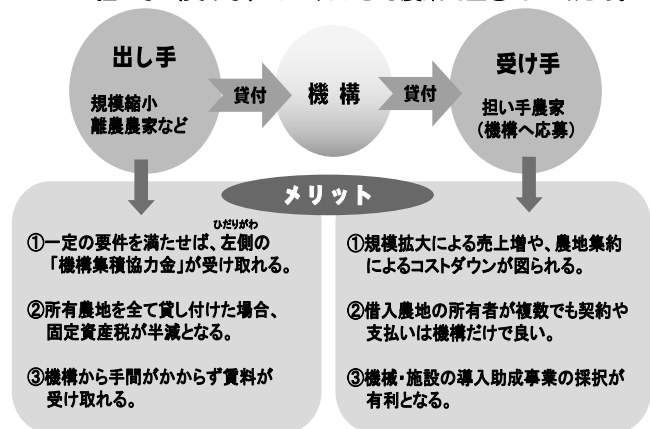
ー新たな時代へー 農地中間管理事業 の活用を！

農地中間管理事業とは？

県指定の農地中間管理機構が農地を借り入れ、規模拡大を目指す担い手に貸し付ける事業

何のために？

- ・耕作出来なくなった農地所有者(出し手)の安心のため。
- ・担い手(受け手)がこれからも農業で生きていくため。



● 問合せ・相談先 ●

東通村つくり育てる農林水産課 ☎0175-27-2111(内線132)
又は青森県農地中間管理機構 ☎017-773-3131
((公社)あおり農林業支援センター)